

1. 大学名	石川県立大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p>&lt;活動実績&gt;</p> <p>① 募金箱を設置した。</p>
5. 今後、予定している活動内容	
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名	金沢美術工芸大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p>&lt;活動実績&gt;</p> <p>① 支援物資の送付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に学生5名が中心となり、絵の具や鉛筆などを学生や教職員から募り、集まった段ボール箱13個分の画材を、被災した宮城県気仙沼市の教育委員会に発送した。</li> </ul> <p>② ボランティア情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地へボランティアに入った学生2名が、被災地から金沢の学生にも現地の様子を伝えることを目的に、活動母体としてVICIS（Volunteer Information Center for Students）を6月に立ち上げ、大学内で現地の様子や震災ボランティア関連情報を発信している。</li> </ul> <p>&lt;その他の機関との連携・協力関係&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川ユネスコ協会が主催する被災地ボランティア活動に大学として協賛し、教員が窓口となり学生や教職員の参加を斡旋している。</li> <li>・金沢市工芸協会が主催する「東日本大震災復興支援チャリティ工芸展」に大学が共催団体として協力し、多くの教員、学生が参加して、展覧会の益金を義援金として被災地の復興支援に役立てた。</li> </ul>
5. 今後、予定している活動内容	
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名	福井県立大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	福井県大学連携リーグ
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績 （例） 学生ボランティアの派遣 教員のボランティア派遣 復興計画の策定	<p>&lt;活動実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教職員、学生有志による募金活動の実施</li> <li>② 福井県災害ボランティアへの参加 学生6名 教員1名</li> <li>③ 学生有志による被災地商品販売支援</li> <li>④ 日本看護協会から災害支援ナースの派遣要請を受け、看護福祉学部の講師1名を岩手県内に派遣</li> </ul>
5. 今後、予定している活動内容	<p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 福井県内の高等教育機関で構成する大学連携リーグによる東日本大震災ボランティア派遣の実施 陸前高田市 教員2名 学生26名派遣予定</li> <li>② 学生有志による被災地商品販売支援</li> <li>③ 経済学部のゼミ生が、福井市内のデパート内に有名店の菓子を販売するブースを設けさせてもらい、販売利益の一部を義援金に充てる。</li> </ul>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合 （特に被災地の大学について）	

# 物産展で東北支援

## 県立大生

### 福井駅西口 きょうまで 3県の35点販売



東北3県の特産品を販売する県立大の学生有志。2日、福井市中央1丁目のガレリア元町

東日本大震災の被災地を支援しようと、県立大の学生20人が「福福キヤ」を支援しようとして、県立大興支援・東北物産展を始めた。初日の2日はJR中央1丁目にて岩手、宮城、

福島の東北3県の特産品35点を販売した。同大の桑原美香准教授のゼミ生が企画。学生が東北の特産品を購入、販売することで、被災地の産業復興を支援していく。毎月、同駅西口周辺で行われるイベントに合わせて実施。今回は「福井七夕祭り」(1～7日)に合わせて2、3日の両日に行う。

岩手の南部せんべいや福島のりんごジュース、宮城の仙台麩などを販売。岩手・陸前高田市などで被災地支援活動を行ったゼミ生の奮闘ぶりも写真パネルで紹介し、道行く人の関心を集めた。

「被災した企業から内定を取り消された学生もいる。長期的視点に立った支援を続けていきたい」と有志の一人、城野里歩さん(20)は同大3年。ゼミ生以外ながら有志として参加した福島・郡山市出身の薄井優介さん(21)は同大4年。彼は「就職活動で支援活動が思うようにできなかった分、ここで故郷の力になりたい」と汗を流していた。8月は5～7日に行われるフェニックス祭りに合わせて行う。

西武福井店へのブース出店に向け打ち合わせをする学生  
＝永平寺町の県立大福井キャンパス



# 復興支援へブース出店

## 県立大生5日から西武福井店

### 有名店菓子販売 収益一部義援金に

県立大経済学部の学生が、学んでいる経営学の知識を実践の場で生かし、東日本大震災の支援にちなげようと、有名店の菓子を販売するブースを5日から福井市の西武福井店に設ける。14日までの期間限定で、販売利益の一部を義援金に充てる。企画したのは、同大の

西崎雅仁教授のゼミ生、3、4年生合わせて19人。「福井から支援を行う」との思いを込め、「福行」支援と銘打った。5月末に企画を立ち上げ、仕入れや接客研修、広報活動を行いながら準備を進めている。

当初は福島など被災地の商品を扱う予定だったが、商品原価などでメーカーとの調整は予想以上に難航。県内外30以上の菓子メーカーとの交渉の末、東京の老舗高級フルーツ専門店「銀座千足屋」が唯一、企画の趣旨をくみ商品提供に協力してくれたという。

期間中は学生が交代で店頭に立ち接客に当たる。メンバーの澤井駿さん(3年)は「自分たちと同世代の若者にも呼び掛け、西武福井店の集客につなげたい」と意気込む。

ブースでは銀座千足屋の人気商品であるフルーツゼリーや焼き菓子などのセット5種類を販売。価格は1500～5千円で設定し、帰省客へのおもてなし需要を見込む。「まるごとみかんゼリー」6個セット(3780円)を目玉とし、1日10セット限定にした。指導にあたった西崎教授は「お金を稼ぐことや、協力して物事を動かすこ

この意味を学んでほしい」と話している。

1. 大学名	岐阜県立看護大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p>&lt;活動実績&gt;</p> <p>①NPO 法人からの教員派遣要請を受入：教員 1 名派遣</p>
5. 今後、予定している活動内容	<p>&lt;その他の機関との連携・協力関係&gt;</p> <p>日本看護系大学協議会と連携し、同協議会が行う支援活動に協力していく予定である。</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名	情報科学芸術大学院大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績 （例） 学生ボランティアの派遣 教員のボランティア派遣 復興計画の策定	
5. 今後、予定している活動内容	
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合 （特に被災地の大学について）	

1. 大学名	静岡県立大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p>&lt;活動実績&gt;</p> <p>①日本病院薬剤師会のコーディネートによる医療チーム派遣 相馬市保健センターを拠点として、相馬市内各施設内において、調剤・交付・服薬指導及び医薬品管理支援。（薬学部教授1名）</p> <p>②東北大学附属病院のコーディネートによる医療チーム派遣 病院において、調剤・交付・服薬指導、医薬品管理支援、処方設計支援、及び避難所における薬歴の聞き取り及び慢性疾患薬剤の処方についての支援。（薬学部講師3名、薬学部助教1名）</p> <p>③情報システムの復旧支援 岩手県立大学と協力し、宮古市田老地区のネット環境の復旧支援、遠野市災害ボランティアセンター内のパソコン環境の構築、大槌町災害対策本部用の衛星インターネット環境の構築活動。（経営情報学部准教授1名）</p> <p>④避難所の細菌検査及び現地調査 トイレ、貯水槽等のサンプリングを行い、検査結果を現地に還元予定。（環境科学研究所助教1名）</p> <p>⑤静岡県社会福祉協議会ボランティア：学生3名</p> <p>⑥静岡県ボランティア協会の派遣：学生8名 ※学生分は7月末現在、今後随時派遣予定。</p> <p>&lt;活動実績と自治体との連携・協力関係&gt;</p> <p>①震災前からの連携の状況・協力体制 ・静岡県としずおか防災コンソーシアムとして講演等を行い、防災意識の向上について連携を行っている。 ・静岡市へ広域避難地等の提供を行い、協力体制を構築している。</p> <p>②現在の連携の状況・協力体制 同上</p> <p>&lt;その他の機関との連携・協力関係&gt;</p> <p>①震災前からの連携の状況・協力体制 ・学内食堂委託業者と災害時における食糧等確保に関する協定を締結し、災害時の食糧確保の協力体制を図っている。</p> <p>②現在の連携の状況・協力体制 同上</p>
5. 今後、予定している活動内容	<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>① 教職員、学生のボランティア派遣を随時実施していく。他、現在検討中。</p> <p>&lt;活動内容と自治体との今後予定されている連携・協力関係&gt;</p> <p>・より緊密に連絡を取り、協力体制を構築していく。</p> <p>&lt;その他の機関との連携・協力関係&gt;</p> <p>・より緊密に連絡を取り、協力体制を構築していく。</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	



1. 大学名	静岡文化芸術大学
2. 実施主体（センター名）	SUAC for JAPAN（学生を中心の震災支援ボランティアグループ）
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p>&lt;活動実績&gt;</p> <p>①被災地でのボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月27日（日）～31日（木） 4名の学生が宮城県石巻市内でボランティア活動を行った。</li> <li>・5月2日（月）～6日（金） 4名の学生が宮城県石巻市内でボランティア活動を行った。</li> </ul> <p>②チャリティ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月15日～7月31日 募金活動を実施、200万円の募金を集める。</li> <li>・5月28日～6月3日 学生によるチャリティーバザーを開催した。</li> <li>・6月28日～7月12日 宮城県の志津川高校に文具を回収して送付した。</li> <li>・7月21日～7月24日 宮城県石巻市の子どもがつくった瓦礫アートの展示会を開催。（来場者775人）</li> </ul> <p>&lt;活動実績と自治体との連携・協力関係&gt;</p> <p>① 震災前からの連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に事前の連携はなかったが、代表の学生の実家が石巻市だったこともあり、支援活動がスムーズだった。</li> </ul> <p>② 現在の連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に自治体との連携を実施しているわけではないが、宮城県石巻市渡波地域に集中的に支援活動を行っている。</li> </ul> <p>&lt;その他の機関との連携・協力関係&gt;</p> <p>① 震災前からの連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul> <p>② 現在の連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山形国際ボランティアセンター、青年海外協力隊OB会</li> </ul>
5. 今後、予定している活動内容	<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>① 8月、9月と学生有志による現地支援活動の展開</p> <p>&lt;活動内容と自治体との今後予定されている連携・協力関係&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体との連携する予定は未定。</li> </ul> <p>&lt;その他の機関との連携・協力関係&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな連携先を探している。</li> </ul>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名／ご担当者名／電話	愛知県立大学
2. 実施主体（センター名）	震災復興支援委員会（地域連携センター内）
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	
5. 今後、予定している活動内容	<p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生ボランティアの派遣</li> </ul> <p>岩手県立大学学生ボランティアセンターが中心となって進める 「いわて GINGA-NET プロジェクト」へ参加する学生への支援</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

これまでに教員が以下の活動を実施

- ・全国保健師教育機関協議会及び災害保健医療支援室の活動に看護学部の教員が参加
- ・教育福祉学部の教員が被災地へスポーツ用品を寄付

1. 大学名	愛知県立芸術大学
2. 実施主体（センター名）	愛知県立芸術大学
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	愛知県立大学
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害義援金の募集 平成23年3月23日から4月8日までの間、本学が実施する学内外コンサートや卒業式・入学式において義援金募集を行い、愛知県災害対策本部を通じて集まった175,597円を募金した。</li> <li>○ チャリティコンサートの実施 「愛知県立芸術大学教授陣による 愛・知・絆 チャリティコンサート」 期 日 平成23年7月29日（金） 会 場 宗次ホール（名古屋市中区） 入場者数 288人</li> </ul>
5. 今後、予定している活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いわてGINGA-NET」プロジェクト実行委員会が参加を呼び掛けている震災復興支援ボランティア派遣に愛知県立大学と連携を図りながら学生を派遣し、支援活動を実施する。 &lt;活動内容&gt; 仮設住宅でのサロン活動、小学生を中心にした学修支援、放課後支援、お祭り等地域行事開催支援 &lt;活動地域&gt; 岩手県大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市等 &lt;活動期間&gt; ① 平成23年8月24日（水）～30日（火） ② 平成23年9月14日（水）～20日（火）</li> <li>○ チャリティコンサートの実施 「愛知県立芸術大学 愛・知・絆 チャリティコンサートⅡ」 期 日 平成23年9月24日（土） 会 場 長久手町文化の家 森のホール</li> </ul>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 愛知芸術文化センター 「東北復興支援チャリティコンサート」 期 日 平成23年7月20日（水）、21日（木） 会 場 愛知県芸術劇場コンサートホール * 愛知県立芸術大学にゆかりのあるアーティスト（名誉教授、卒業生等）がボランティアとして出演</li> </ul>

1. 大学名	名古屋市立大学
2. 実施主体（センター名）	名古屋市立大学
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p>&lt;活動実績&gt;</p> <p>1 教職員の派遣等</p> <p>① 名古屋市と連携し、平成23年3月21日から4月15日まで、医療救護班を被災地である仙台市に派遣した。 (派遣延べ人数 医師5名、看護師10名、薬剤師5名、事務7名 計27名)</p> <p>② 福島県立医科大学からの医師の派遣要請に基づき、平成23年6月19日から麻酔科医1名を同大学へ派遣している。(半年間程度の予定)</p> <p>③ 陸前高田市職員及び名古屋市派遣職員の健康管理を支援するため、名古屋市病院局と共同して、平成23年7月25日から29日まで、陸前高田市へ職員を派遣し、陸前高田市職員の健康診断や名古屋市職員の健康チェックを実施した。 (医師2名(途中交代)、看護師2名、臨床検査技師3名、事務2名 計9名)</p> <p>④ 8月3日から5日まで、陸前高田市の中学生を本市へ招待し、親睦を深める事業(陸前高田市の子供達を名古屋市へ招待するプロジェクト)に、HPS(ホスピタル・プレイ・スペシャリスト)の資格を有する看護師を1名派遣した。</p> <p>⑤ 大学による義援金の募集【195万円：日本赤十字社へ】</p> <p>⑥ 学生による義援金の募集 医学部学生有志【195万円：日本赤十字社・東北大学病院へ】 山の畑キャンパス学生有志【10万円：愛知県災害対策室へ】</p> <p>2 学生・受験生に対する支援</p> <p>ア 本学の学生・受験生に対する支援</p> <p>① 後期日程入試を受験できなかった方に対する特別措置【2名】 地震による被災等で後期日程を受験できなかった者に対し、大学入試センター試験の成績・調査書を総合的に判定して、合格者を決定した。</p> <p>② 入学手続きができない方に対する特別措置【4名】 地震の影響により、入学手続きのための来学(3月27日午後4時まで)ができない、入学手続きの書類を郵送(3月26日必着)することができない、入学料を振り込むことができないなどの方に対し、FAXでの手続きや、手続き日の延長の措置を行った。</p> <p>③ 入学料の減免措置【2名(家屋の一部損壊のため半額免除)】 入学料について、本人・保護者の家屋被害の程度に応じて全額又は半額減免を行った。</p> <p>④ 授業料について、減免の基準(成績・収入)を緩和【3名】 成績基準：「秀」「優」「良」が2/3以上 → 1/2以上 収入基準：なし</p> <p>⑤ 家族が被災した学生に対する宿舍の無償提供(～平成25年3月15日) 本学留学生宿舍(最大3室)を提供【1室】</p> <p>イ 本学の学生のボランティア活動に対する修学上の配慮</p> <p>① 被災地においてボランティア活動に従事した場合、各学期ごとに2週間を限度として出席扱い</p>

	<p>② 被災地におけるボランティア活動について、30時間を1単位として、教養教育科目としての単位を付与</p> <p>学生ボランティアの派遣実績 【経済学部より2名派遣】</p> <p>場所：宮城県仙台市若林区、宮城県石巻市</p> <p>活動内容：民家や田んぼのガレキ撤去、泥かき等</p> <p>活動日数：2日～5日間</p> <p>ウ 他大学の学生に対する支援</p> <p>① 科目等履修生の受入れ（入学料、授業料等は免除）【2名】</p> <p>自宅や通学先の大学が被災したほか、福島第1原発事故の影響で東海地方に避難してきた学生を、科目履修生として受入れた。</p> <p>注 【 】の数値は、7月11日までの実績を示す。</p>
<p>5. 今後、予定している活動内容</p>	
<p>6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）</p>	

1. 大学名	三重県立看護大学
2. 実施主体（センター名）	三重県立看護大学
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	
5. 今後、予定している活動内容	<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>①「いわて GINGA - NET プロジェクト」と連携して、本学学生を被災地に派遣してボランティア活動を行います。</p> <p>活動期間：平成23年8月24日（水）～8月30日（火）</p> <p>参加人数：30名（学生他）</p> <p>活動地域：岩手県（大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町他）</p> <p>活動内容：仮設住宅でのサロン活動、子供向けの学習支援、遊び支援、お祭り等地域行事の開催支援等</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	